



令和七年三月六日発行
 発行所 真言宗醍醐派宗務本庁
 京都市伏見区
 醍醐東大路町二十二
 電話 〇七五-五七二-〇〇〇二
 FAX 〇七五-五七一-〇〇〇二

初心忘るべからず

私の心に忘れられない教えとして、世阿弥の残した言葉があります。

世阿弥（世阿弥・一三六三年～一四四三年）は、室町時代の猿楽師で、父の観阿弥とともに猿楽（申楽ともいう。現在の能）を大成します。醍醐寺とも関わりがあり、『満濟准后日記』には当時、観世流の方が醍醐寺清瀧宮の楽頭職についていたことが記され、観世入道（世阿弥）の存在が示唆されています。また、『醍醐寺新要録』七所載の「隆源僧正記」によれば、世阿弥の長男、基雅も楽頭職に就いており、醍醐寺の清瀧宮で舞を奉納しております。

さて、世阿弥の残した言葉に「初心忘るべからず」があります。

世阿弥は自身が記した『花鏡』のなかで、その末尾に「命に終わりあり能には果てあるべからず」とし、三つの「初心」について記しました。いまでは「初めの志を忘れてはダメですよ」という意味に使われていますが、本来は少し違っているようです。

令和7年3月号



田中 祐考

第一に「ぜひ初心忘るべからず」

第二に「時々の初心忘るべからず」

第三に「老後の初心忘るべからず」

どのような意味なのでしょう。

京都で観世流を継承する、能楽師、片山九郎右衛門先生は、この言葉を常に思い起こさなければならぬとし、それを「世代継承の知恵。心から心へ伝える花を次へ受け渡すために最も大切な教え」として紹介されました。

第一の「ぜひ初心忘るべからず」とは、「若さゆえにありがちな自信過剰、または思い込みゆえの未熟さ」を「初心」といい、失敗と恥に学び、乗り越え、成長しようとしています。

第二の「時々の初心忘るべからず」の「時々」とは、若いころから最盛期を経て、老年に至るまでの時々。したがって「折々の曲との出会い、自身の体の変化をよくよく考慮しつつ乗り越え、体に刻み込んだ者のみが能役者として花を咲かすことができる」。つまり初心は自らの成長とともに、日々更新されているのです。

今月の掲載内容

- ・ 初心忘るべからず
- ・ 録事
- ・ 宗派だより
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより
- ・ 本庁からのお知らせ
- ・ 醍醐寺からのお知らせ
- ・ 令和六年度全国宗務所長会

4 3 3 3 3 2 1

そして第三の「老後の初心忘るべからず」は、「老後」の「枯れた肉体に似つかわしい風体を工夫し尽くして刻み込み忘れぬこと」。それは、「先人が工夫に苦しむ様を次の者にさらしくしてくる、…次の者が受け継いでいくしかないのです」と解説されました（京都新聞二〇一四年一〇月二十九日より）。

能は一度として同じ舞台がない、時間の芸術です。演者の構成、観る側の者、その一番一番が一期一会です。そのような緊張感のなか、精進を重ねた者が、自らにふさわしい初心を忘れないようにする。歳をとったなら、乗り越えようとする試練にあるがまま向かい、その都度改めて習おうとする。

このような姿勢に私は、その内に宿る反省と学びの謙虚さを教えられました。また、私たちは先人より「心から心へ伝える花」を受け継ぎ、その上に学びを築いていることにも気付かされます。

「初心忘るべからず」この言葉を胸に思いながら、先人に感謝して、日々、精進してまいりたいと思います。

録事

▼度牒授与

本宗籍

令和六年五月九日

岡山

十二月一日

千葉

池田 誠光
伏島 滉将

▼責任役員任命

令和七年一月六日

高知(直)

西福寺

北岡満里子
高橋 進一
戸田 卓也

一月八日

新潟

密藏院

北村 亮三
北村 明邦
本間 亮善

一月十日

新潟

光明院

渋谷 剛
森村 貴絵子
小池 勝榮
森村 政道

一月十三日

山口

普門寺

上村 伸一
清水 千恵美

一月十九日

三重

福満寺

杉山 哲夫
石田 開

一月二十六日

山梨

大聖寺

石田 眞弓
諸橋 律子
西塔 嘉子
西塔 りさ

一月二十九日

山口

来迎院

蓮住 信慶

▼総代委嘱

令和六年十二月十七日

大阪

弘詮寺

眞栄平 充弘
田村 比左二
中野 晴之

令和七年一月六日

高知(直)

西福寺

山崎 暁美
藤崎 幸治
鍋島 満弘

一月八日

新潟

密藏院

北村 文子
北村 延子
北村 深雪

一月十日

新潟

光明院

吉田 孝幸
目黒 英樹
今井 信弥
山下 学

三重

大聖院

坂倉 達也
片山 忠郎
筒井 俊夫
清水 政信
伊藤 孝

一月十三日

山口

普門寺

藤原 淳子
石川 順子
小野 博信

一月十九日

新潟

眼尚院

石黒 則夫
藤木 美津子
堀井 伸治
青山 美榮
堀井 眞佐子
杉本 久生

三重

護願寺

三重

福満寺

三重

福満寺

吉崎 和成

一月二十六日

山梨

大聖寺

高本 千秋
山村 隆夫

新潟

明学院

佐田 公男
若尾 儀武
佐田 惣一郎
西海 松雄
伊藤 忠男
大竹 政喜

肥前

正林寺

鈴木 昌子
松屋 九洲男
平松 輝男
塩鶴 精

一月二十九日

山口

来迎院

品川 幸二郎
藤田 弘美
蓮住 良子

▼褒賞下付

令和六年十二月七日

三重

惣正寺

岩並 孝夫、正見

大中建 築

金和堂 立川 恒輝

▼承認・証明

令和六年十二月二十日

鹿兒島(直)

報恩寺

宗教法人「報恩寺」設立および規則承認の件

宗派だより

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第四回第一連絡会

令和七年一月二十八日(火) 京都 真言宗智山派宗務庁(智積院会館)
 出席：浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐
 法螺貝講習会

令和七年一月三十日(木) 参加者二十六名

令和七年一月三十一日(金) 参加者二十二名

講師：大分 大聖院住職 辛島正英師

末寺・教会・醍醐寺だより

初祈祷授戒会

令和七年一月五日(日) 午前十時 伽藍 柴燈護摩道場・金堂

初聖宝会

令和七年一月六日(月) 午前十一時 上醍醐 開山堂・伽藍 祖師堂

後七日御修法

令和七年一月八日(水) ～ 一月十四日(火) 京都 総本山教王護国寺

出仕：北海道 大心寺 権大僧正 荻原隆朝師

梵字悉曇伝授 第三会

令和七年一月二十一日(火) ～ 一月二十二日(水) 研修棟 (Zoom受法可)

伝授：悉曇阿闍梨：種智院大学 副学長 児玉義隆 僧正

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法人法』第二十五条第四項)。

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。

また、寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。責任役員・総代に欠員が生じた場合、任期満了になられた場合には、速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

財務部より

既に宗費賦課金の請求書を送らせて頂いておりますが、まだお手元に届いていない場合は、宗務本庁財務部宛にご確認ください。

お手元にごございます場合は、お早目の納付をお願い申し上げます。

醍醐寺開創千五十年慶讃事業義納金や各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までご連絡ください。

教学部より

伝法学院オープンセミナー 易学講習会

令和七年三月二十四日(月)・三月二十五日(火) 両日午前十時

醍醐寺研修棟 (Zoom参加可)

講師：石原明順師(伝法学院特別講師)

家相鑑定法

令和七年三月二十七日(木) 午後～三月二十八日(金)

醍醐寺研修棟 (Zoom参加可)

講師：兵庫 御園教室代表 御園珠美佳 先生

※各講習会の詳細情報およびお申し込み・お問い合わせは、右記のQRコードから。



←お申し込みはこちらから

醍醐寺からのお知らせ

桜会

開白 令和七年三月十五日(土)

大般若転読法要 伽藍 清瀧権現社

中日 令和七年四月一日(火)

柴燈大護摩 伽藍 柴燈護摩道場

結願 令和七年四月十五日(火)

恵印法要 伽藍 金堂

彼岸会

開白 令和七年三月十七日(月)

午前十時 平座理趣三昧法要 三宝院 弥勒堂

中日 令和七年三月二十日(木・祝)

午前十時三十分 土砂加持法要 伽藍 観音堂

結願 令和七年三月二十三日(日)

午前十時 平座理趣三昧法要 三宝院 弥勒堂

醍醐寺靈宝館春期特別展

令和七年三月二十日(金) ～ 五月六日(火) 靈宝館本館・平成館

醍醐寺靈宝館開館九十周年記念『受け継がれる寺宝』

※三月二十五日(火) ～ 三月二十七日(木) は、本館、平成館は休館となります。

醍醐寺オープンテンブル「IDAY」こころの修行体験

令和七年三月八日(土)、同年五月十日(土)

令和六年五月十三日 令和六年度全国宗務所長会

(議事要録)

令和六年度全国宗務所長会は、去る五月十三日午前十時から総本山醍醐寺研修棟で開催。総務部、教育学部、財務部からそれぞれ宗務伝達事項が報告され、午後零時四十六分に閉会した。

〔全国宗務所長会出席者〕

北海道宗務所長	観音寺	佐々木康勝
山形北部宗務所長	龍寶院	最上 神司
山形南部宗務所長	瑞光寺	藤田 宥宣
新潟宗務所長	不動院	小野 雅康
山梨宗務所長	玄法院	坂本 正文
静岡宗務所長	福昌院	天野 智文
三河東部宗務所長	快泉院	三宅 俊充
三河西部宗務所長	薬證寺	松山 芳道
尾張宗務所長	寶珠院	水野 秀海
岐阜宗務所長	玉性院	玉護 雅秀
三重宗務所長	滝谷山不動院	服部 秀快
京都宗務所長	文殊院	山田 行圓
奈良宗務所長	東福寺	村岸 定光
大阪宗務所長	金剛寺	谷本 俊弘
兵庫宗務所長	大行院	上林 孝仁
美作宗務所長	金龍寺	中井 宏昌
備前宗務所長	金剛寺	菅野 舜仁
備中宗務所長(欠席)	西光寺	黒山 良淳
広島宗務所長	明光寺	村上 公明
山口宗務所長	地藏院	河島 法照

鳥取宗務所長	青龍寺	城光寺照進
島根宗務所長	延命寺	福田 快宥
高知宗務所長	正法寺	小松 優心
香川宗務所長	摩尼院	中筋 高照
愛媛宗務所長	蓮生寺	森岡 文雄
福岡宗務所長	阿弥陀院	浅井 戒仁
大分宗務所長	海岸寺	瀧本 峰照
肥前宗務所長	圓壽院	原 峰善
熊本宗務所長	本藏院	藏本 崇正
宮崎宗務所長	天福寺	桑井 大豪

〔内局側〕

大原弘敬宗務総長	仲田順英総務部長
浦郷宜右教学部長	三好祥徳財務部長

幹事・小暮徹順総務課長

午前十時着座。開会を前に座長選出が行なわれ、福岡宗務所長の浅井戒仁師が座長に選任された後、「開会式」が行なわれ、壁瀬宥雅管長は次のようにご親論を述べられた。

親論

親論、本日、全国宗務所長会を招集致しましたところ、所長各位にはご多忙な中ご登山くださり、誠にありがたく御礼を申し上げます。

昨年十一月、醍醐寺第百三世座主、真言宗醍醐派第十一世管長の順和大僧正猊下がご遷化されました。その悲しみの中、不肖、私が座主、管長へ推挙されました。

奇しくも本年は醍醐寺開創千百五十年を迎える年であります。開山聖宝理源大師の御心に添い、宗務

所長各位をはじめ、全教師と共に慶讃大法要を無魔にて成し遂げたいと存じております。

醍醐寺は平安の昔から今日まで、真言宗の中心的寺院として栄えてまいりました。しかし、それは同時に戦乱や災害による荒廃からの復興の歴史でもあります。「応仁の乱」のような戦乱によって焼失した時、また、明治に入ってから起きた「廃仏毀釈」によって領地のほとんどを失った時も末寺と一体となって再興され、より輝く宗団、本山となってきました。

近年も平成三十年の台風によって大きな被害を受けました。中でも仁王門を越えた北側、旧三宝院の跡地はほとんどの樹木が倒れ、無残な姿となっております。まずは、桜を中心に植樹を施し、大勢の人々の笑顔が集う「法流の杜」として再生致しますので、皆様のご協力をお願いします。

この事業を進めるには、宗団と本山がより緊密になる必要性を感じております。そのためには、『宗制』や『宗規』の見直しも必要と考え、大原宗務総長のもとで検討を進めております。

最後となりましたが、皆様のご健勝を願い、親論と致します。

令和六年五月十三日

真言宗醍醐派管長

大僧正 壁瀬 宥雅

座長答辞

浅井座長Ⅱこの度の総本山醍醐寺第百四世座主就任、誠におめでとうございます。三十年前、私が院長のころに梵字悉曇のご教授を賜って以来、財務部長、宗務総長と大変お世話になり、ありがとうございます。これから、また管長として私共をお導きのほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

本日、全国宗務所長会に当たり、醍醐寺開創千百五十年慶讃事業とそれに纏わる事、また宗務総長からの施政方針、総務、教学、財務部長より各重要案件のご報告をしっかりと私達所長が理解し、持ち帰りまして所下寺院に伝達することを約束致します。本日もよろしくお願い致します。

—管長猥下、ご退席—

—浅井座長、座長席へ—

—各宗務所長の自己紹介—

大原宗務総長Ⅱ全国の宗務所長の皆さま方におかれましては、常日頃より宗団発展のために、ご理解ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、令和五年十一月十日、醍醐寺第百三世座主・仲田順和猥下がご遷化されました。これを受けて、令和五年十二月八日、午後二時より座主推薦委員会が開催され、全委員出席の下、全会一致で壁瀬宥雅執行長を第百四世座主に推挙致しました。定めにより、醍醐寺座主は真言宗醍醐派管長、大本山三寶院門跡を兼務致します。同日付で就任されました。

壁瀬座主就任に伴い、『宗教法人醍醐寺規則』第十七条第二項の規定により、不肖、私が執行長の任命を受け、さらに『宗制』『宗規』の定めにより宗務総長の重任を拝しました。元より浅学非才、凡庸の身にてその任ではないことは弁えておりますが、その任を受けた以上、粉骨砕身、精進努力して、座主・管長猥下の信に応えてまいる所存でございますので、よろしくお願い致します。

—報告事項—（資料参照）

施政方針

私の大きな目標として、醍醐寺、醍醐派の改革がございます。これについては、不撓不屈の精神で不借身命を貫く覚悟でございます。継続性と一貫性をおっしゃる方もありますが、今、必要なことは変革であると思っております。意識改革し、固定観念への捕われを打破し、どんどん変えられることは変えていくことが重要であると考えます。

醍醐寺の規則、醍醐派の『宗制』『宗規』の見直し。現代社会に即応できるように規則にしていくなための委員会の立ち上げ、並びに制度審議委員会を開催します。

財政再建に対しては、慢性的財政難からの脱却、収益構造の問題点を精査していきます。リスクマネジメントすることで、この危機を脱却していきます。宗費の抜本的見直しを検討していきます。この件は、大変デリケートな案件ですので、委員会を立ち上げ、皆様に納得していただけるよう複数年かけて慎重審議を重ねていかなければならないと思っております。末寺の皆様が願いが反映されるための事業計画とそれに伴う予算書を作成し、宗費の根拠を明確にしていくつもりです。醍醐派の更なる飛躍のためにも避けて通れないことでありますので、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

仲田総務部長Ⅱ総務部報告（資料参照）

浦郷教学部長Ⅱ教学部報告（資料参照）

三好財務部長Ⅱ財務部報告（資料参照）

醍醐寺開創千百五十年関係報告—

仲田総務部長

・ 団参案内、宗内特別功労表彰式、法流の杜進捗状況の報告。

三好財務部長

・ 令和五年度の醍醐寺開創千百五十年勸募の義納金納入額の報告。(三千四百七十万五千四百八十四円、令和五年三月三十一日現在)

—午前十一時三十七分から

午前十一時四十五分まで休憩—

質疑応答

中筋香川宗務所長

・ 『神変』別冊において昨年の臨時宗会と宗務所長会において勸募金の了承を得ていると記載がある。七月十一日の宗務所長会議では質疑応答は行なわれたが早々に閉会されたような状況で、了解をするまでには至っていない。なぜこのような文面になったのか。

・ 宗務所長会の議事要録も約一年が経過しようとしているのに掲載されていないのはなぜか。

・ 責任役員任命申請書、総代委嘱申請書の切り取り線以下にスペースが無いと宗務所長印が押し難い。空白部分を広げて欲しいと何年も要望しているが聞き入れてもらえない。今後は対応してもらいたい。

・ 本山の手間にならないように作成した個人情報が入った資料が担当者へ届かず粗末に扱われているような気がする。これからは担当者に渡るようにしていただきたい。

・ 昨年の七月十一日の宗務所長会において、観音堂、下伽藍の寄進の報告が未発表で何にも使用したか分からない。事業途中であれば、中間報告等で現状報告をしていただきたい。

大原宗務総長

・ 勸募に関しては宗会で議決し、その件を宗務所長会でご説明したということだったが、そのようなことは無かったたのでこの場を借りてお詫びし、訂正する。

・ 議事録については、担当者によれば、テープ起こし作業に非常に時間が掛かる。録音設備も旧

式であること等も含め遅くなる原因となっている。また、全文を『神変』に掲載することによりボリュームが増えることになり、これも時間を要する一因になっている。間を抜いて簡潔に掲載させていただければもっと早くお手元に届けることができる。寺務所職員も不足しており、担当者は一名で議事録作成に膨大な時間を要している。限られた人員で業務を行なっており、遅滞についてはお詫びする。

責任役員任命申請書、総代委嘱申請書については、これも担当者に確認したが、現在のところ書類の体裁は変更し難い。変更するには経費も掛かる。ご理解をいただきたい。

個人情報取り扱いについては、貴重な書類が紛失することが無いようにする。

観音堂、下伽藍の寄進の報告等については、過去のことはお許しいただきたいが、今後は事業別に全て会計を出すので、誰が見てもすぐに分かるような形に変えていきたい。

中筋香川宗務所長

・議事録について全文を起こすのは大変なので、要点を絞ったもので作成していただければ良い。
・申請書式の変更については、全て外注にしているから費用が掛かる。ある程度寺務所職員でも修正できるようにしていけば良いのではないか。

大原宗務総長Ⅱ申請書式の変更等については、これから担当と協議しながら努力していきたい。

浅井座長Ⅱ議事要録について、これからは報告書のような掲載で良いという方の挙手を求めたい。

―各所長挙手―

浅井座長Ⅱ賛成多数ということで今後はそのように対応していただきたい。

大原宗務総長Ⅱご理解をいただき感謝したい。音

声は保管しているので細かく知りたい方は本庁へ来ていただきたい。

森岡愛媛宗務所長Ⅱ香川宗務所には失礼だが、事務的なことをアドバイスするような質疑応答ではなく、各宗務所長が全体として皆が聞いておかなければならないような質疑応答にしていきたい。座長にもそのように議事を運んでいただきたい。

今回から質疑は事前に返信用紙で提出できるようにしていたが、宗務総長は確認されたのか。

大原宗務総長Ⅱ確認している。少し議事の流れがおかしくなったが、宗務所所長会は、宗会での議決事項を末寺の皆様にお伝えし、不明なところに応えるのが本来である。次回からはこのような事にならないように考える。皆様の貴重なご意見を本山に寄せていただき、反映していきたい。

森岡愛媛宗務所長Ⅱ責任役員任命、総代委嘱について、任期満了していても更新をしない寺院がある。長く更新していかなくても遡っての更新料が請求されていない。真面目に任期満了毎に更新料を納めている寺院との平等性がない。この件について昨年も質問したが、本庁で審議されたのか。

大原宗務総長Ⅱ次回の臨時宗会において審議したい。規則上、本庁だけで決めることはできない。

村上広島宗務所長Ⅱ役員の更新について、本庁から「責任役員と総代に同一人物が登録されている。次回からは別の方にするように」と言われた。地方では過疎化、高齢化が進み、責任役員、総代を全て別の方にお願いするのは難しい寺院もある。このままでは親戚や法類の方を入れることになるが、公益性から考えると好ましいことではないと思う。本庁のお考えを伺いたい。

仲田総務部長Ⅱ規則には責任役員と総代について同一人物は任命できないとは書いていないが、役割

が違うので常識の範囲で別の人物を選んでいただきたい。しかし、時代の変化と共に、名前で通す書類よりも実態に合った書類を通すことが宗教法人を守ることに必要なる。

本庁としては規則変更をして役員の人数の削減をさせていただきたい。同一人物でも良いかどうかは他宗派の規則も見ながら継続的に考えていきたい。

上林兵庫宗務所長Ⅱ関連になるが、任期中で責任役員が死亡した場合、次の任期満了日まではどのようにすれば良いか。

仲田総務部長Ⅱ責任役員は定数を揃える必要があるので、任期中の場合には残任期間で申請していただく。次の任期満了まで期間が近い場合は本庁にお問合せいただきたい。

服部三重宗務所長Ⅱ醍醐寺開創千五十年の勸募について、僧階昇補の越級ができるのか。また、寺院で勸募金を納めた場合、僧階昇補の対象者は住職のみということだが、師弟については寺院での勸募金で昇補できないのか。また昇補金額の一覧があれは送っていただきたい。

仲田総務部長Ⅱ寺院の観募金で住職以外の昇補はできない。昇補金額の一覧については準備させていただく。団体参拝の案内もあるので、合わせて直轄寺院、非住職教師にも送付する。

浅井座長Ⅱ僧階昇補希望者の提出期限はあるのか。

仲田総務部長Ⅱ特には決まっていないが、できるだけ十一月十六日の中日法要までにご提出いただきたい。中日法要日以降に提出された場合については、宗会等でも諮り対応を決めていきたい。

小野新潟宗務所長Ⅱ新潟宗務所は今年度の義納金を振り込んだ際に、別紙で各寺院の納入金額一覧表、希望待遇等を提出しているが、先ほどのお話では、

もう一度同様の内容で提出する必要があるのか。

仲田総務部長 Ⅱ宗務所として提出していただいている場合は再提出の必要はない。非住職教師、直轄寺院で未提出のところが対象の話である。

中筋香川宗務所長 Ⅱ現在、寺院が醍醐派所属であるが、住職が亡くなった時に他派の僧侶が住職になることを醍醐派では認めていない。他宗派ではできるようだ。今後、住職が減っていく中で檀家にとっては他派寺院の住職でも近隣の顔を知っている方がほうが安心である。これを認めることによって、教師賦課金や寺院宗費も入ってくることになるので、醍醐派においても、他派の寺院住職であつても醍醐派所属の寺院の兼務を認めるように考えていかなければならない時期にきているのではないかと。

仲田総務部長 Ⅱすでに特別な事情がある寺院については対応している。宗務所長に責任役員に入つていただく等で醍醐派との繋がりが無くならないようにする措置はしている。

あくまでも個別の臨時対応なので、今後は宗会に諮って可能かどうか明確にしていく必要があると考える。現在、同様の事情で住職を入れたい寺院があれば個別に対応させていただく。

中筋香川宗務所長 Ⅱそういうことであれば有難い。今後も対応していただきたい。

河島山口宗務所長 Ⅱ役員名簿について、宗務所でも役員を揃えるように指導していくということであるが、宗務所下寺院の役員の任期満了について一昨年は一覧をいただいたが、昨年は無かった。寺院によって任期期間は異なる。また、責任役員と総代の任期期間が異なる寺院もある。そのような事情から毎年、任期満了の一覧をいただくと有難い。

仲田総務部長 Ⅱ積極的に役員更新を進めてくださるといふことで、有難い。今後は一覧を送るように

したい。

最上山形北部宗務所長 Ⅱ宗務所下寺院は十二ヶ寺あるが、その内一ヶ寺が長く無住の状態であり、地域で護持している状態である。寺族も続けていく意志がないので宗務所のほうで解散等の手続きを行なって欲しいと言われているが、勝手に解散や財産処分ができない。当該寺院については宗費免除の申請をしている。

また、今回の醍醐寺開創千五百年の慶讃勸募について各寺院に義納金の納め方、希望待遇を問い合わせた時に返事が来なかった寺院があつたので、伺ってみると住職は行方不明になつていたが寺院は残っている。地域の方と話す、ずっと地元にあつたお寺なので、できる限りのことはするが、それ以上のことはできないということだつた。

そういう寺院が多くあり、後継者不足も重なつて、山形北部宗務所下寺院は早くも五年、遅くても十年後には四ヶ寺か五ヶ寺になつてしまう可能性がある。そうなる名前が残っているが住職不在の所下寺院は宗費免除の申請を出すことになる。本山においては、このような問題について方針や案をお考えであれば伺いたい。

仲田総務部長 Ⅱ宗教法人の存続は全国的な問題になつている。細かいところは個別に相談させていただく。特に解散については財産が残っている場合、本庁で勝手にできないところもある。

一番良い解散方法は所轄庁に解散命令を出してもらうことであるが都道府県や担当者によってバラつきがある。

寺院宗費については、これから見直しを行なっていくので、対応を議論していきたい。不明な点、ご要望があれば本庁に問い合わせさせていただきたい。

最上山形北部宗務所長 Ⅱ一気に寺院数が減るわけではなく徐々に減っていくことになると思う。本庁に対応をよろしく願いたい。

―質疑応答、終了―

―午後零時四十分より閉会式―

―管長猥下ご臨席―

―御法楽―

―管長猥下ご挨拶―

本日、宗務所長会を開催致しまして、所長の皆様にはご多忙の中ご参集いただきましたこと、ありがとうございます。御礼申し上げます。

先般の宗会において決まりましたことを、皆様方にご伝達をしました。この方針に従つてよろしくお願い致します。

また、何よりも今年十一月に醍醐寺開創千五百年慶讃大法要がございます。五日間の法要が立派に行なわれるよう努力してまいります。皆様方にもご協力をお願いしたいと思います。ぜひ各法要にはそれぞれの宗務所から皆様にご参集いただきたいと念願しています。

本日は本場にありがとうございます。

宗務総長挨拶

大原宗務総長 Ⅱ各宗務所長様におかれましては、長時間本場にありがとうございます。皆様方から賜りました貴重なご意見を反映できるように、努力精進してまいりますので今後共よろしくお願い致します。ありがとうございます。

小暮幹事 Ⅱ以上をもちまして真言宗醍醐派全国宗務所長会閉会式を終わらせていただきます。皆様におかれましては、長座に亘り、誠にありがとうございます。

―午後零時四十六分、終了―

資料1 報告事項

- 一、弘法大師御誕生千二百五十年慶讃法要 (資料5参照)
- 二、弘法大師御誕生千二百五十年慶讃法要 (資料5参照)
- 三、第五十五回密教教化賞授賞式 (資料5参照)
- 四、遍照心院順和大僧正のご報告 (資料5参照)
- 令和五年十一月 十日 ご遷化
 - 〃 十一月十二日 通夜
 - 〃 十一月十三日 密葬
 - 〃 十二月十七日 満中陰
- 令和六年二月二十七日 百箇日法要並びに納骨式
- 五、総本山醍醐寺第四百四世座主 壁瀬宥雅大僧正晋山式 (資料5参照)
- 令和六年五月三十日 (執行予定)
- 総本山醍醐寺第四百四世座主 壁瀬宥雅大僧正入山式
 - 令和六年一月二十二日 午前十時三十分
 - 歴代座主報告参拝 三宝院弥勒堂 入山お待受け挨拶 三宝院表書院
 - 第百三世順和大僧正焼香 三宝院奥居間
 - 入山報告法要 伽藍金堂
- 六、全真言宗青年連盟第四十四回結集醍醐大会 (資料6参照)
- 七、醍醐寺開創千五百年法要 (資料6参照)
- 記念事業について
 - ・「金堂の西側、旧灌頂院跡地を含む旧三宝院跡地を「法流の杜」として整備。
 - ・桜の馬場の土の入れ替えと植樹。
 - ・霊宝館の空調システムの改修。
 - ・上醍醐の再興。
- 八、醍醐寺アカデミーについて
 - ・三宝院聖天堂屋根の復旧工事。
- 九、五大力尊仁王会について
 - ・シンプルに「醍醐寺の歴史と文化」を学んでいただく「醍醐寺オープンテンプル」(名前は変更する可能性あり)のみを継続していく。
- 令和六年二月二十三日 醍醐寺 金堂にて執行。
 - ・当日は仁王会法要を終日おこなった。また、昨年好評であった金堂内特別内拝に加え、金堂内特別参座席を設け、御祈願をおこなった。
- 十、宗団の財政について
 - ・健全な財政運営のためには、宗費の検証が必要。事業計画の見直しを図る。
- 十一、伝法学院報告
 - ・令和五年度は七名が入学。加行を成満し、令和六年一月二十六日、伝法灌頂を

無魔成満。令和六年度は五月七日に四名が入学しております。変更事項として

- ・五月入学を四月入学、四月卒業を三月卒業に変更。
- ・カリキュラムに「小型車両系建設機械」資格取得を加える。
- ・二週間に一回、午前九時から午後五時までの休みを取らせる。(加行期を除く)

十二、宗教法人法の理解
 日本社会においてコンプライアンスが重要視されて久しく、成熟した社会において法令遵守、少しの妥協も許されない状況です。すべての宗教法人が『宗教法人法』を理解し、義務を果たさなければならぬ。
 詳細は、(資料2、4参照)

十三、醍醐寺の報告
 福祉事業 醍醐寺境内南の空き地を活用したグループホームは足掛け十二年目になり、順調に推移している。
 「醍醐寺国宝展」大阪中之島美術館 寺宝約九十八点出陳予定。
 詳細は、(資料6参照)

資料2 令和六年度総務部基本方針と実務計画

○基本方針

- ①宗教法人としてのこれからの社会の変化への対応
 - ・義務の遂行。
 - ・法人備え付け書類の徹底。(役員名簿の発送、役員任期に伴う申請)所轄庁への提出書類の義務と本山への提出の義務。
 - ・公益性のある法人としての役割、社会性、地域性のある活動。
- ②不活動活動法人対策と後継者問題、未来の宗教法人のあり方への対応
 - ・不活動法人を含む、実態の把握。
 - ・宗務所との協力、研修会への参加、諸制度審議会。
 - ・賦課金未納者対策。
 - ・責任役員、総代の任命の徹底。(手数料問題含む)
 - ↓手数料未納者をなくすための請求の徹底。
 - ・後継者問題とさらに増えると思われる不活動法人への対応。
 - ・宗制、宗規の見直し。ロードマップの作成。
- ③正しい情報の発信と共有
 - ・宗派としての迅速な情報発信、情報管理の徹底と充実。(正しい情報)

真言宗醍醐派寺院・教会・教師数現況

(令和5年4月1日～令和6年2月29日現在)

区分		総数	法人	非法人	備考	
寺院	寺院数	766	710	56	宗務所下寺院 623 (法人613 非法人10)	
					直轄寺院 143 (法人97 非法人46)	
					無住寺院 137 (法人121 非法人16)	
	除籍寺院	9	8	1	新潟(宗) 宗教法人 愛染院 解散	
					新潟(宗) 宗教法人 醫王院 解散	
					新潟(宗) 宗教法人 來寶院 解散	
					京都(宗) 宗教法人 成就院 解散	
					愛媛(宗) 宗教法人 海雲寺 解散	
					福岡(宗) 宗教法人 法照寺 解散	
					大分(宗) 宗教法人 最勝寺 解散	
教会	教会数	100	45	55	無主管教会 30 (法人 16 非法人14)	
					除籍教会	1
教師	本宗籍	1397	(寺院住職 525・非住職 872)			
			令和5年4月1日～令和6年2月28日 入籍者 19名			
			令和5年4月1日～令和6年2月28日 除籍者 27名(死亡・辞職・僧籍削除)			
	修験籍	1374	(教会主管 42・修験道教師 1332)			
令和5年4月1日～令和6年2月28日 入籍者 30名						
				令和5年4月1日～令和6年2月28日 除籍者 30名(死亡・辞職)		

宗務所移動 (令和5年4月～現在)

宗務所	宗務所所在寺院名	所長名	任命年月日
山形北部	龍寶院内	最上神司	令和5年9月10日
山形南部	瑞光寺内	藤田宥宣	令和6年4月1日
山梨	玄法院内	坂本正文	令和5年8月1日
岐阜	玉性院内	玉護雅秀	令和5年4月1日
三河西部	薬證寺内	松山芳道	令和5年7月20日
尾張	寶珠院内	水野秀海	令和6年4月1日
京都	文殊院内	山田行圓	令和5年4月1日
大阪	金剛寺内	谷本俊弘	令和5年4月1日
美作	金龍寺内	中井宏昌	令和6年4月1日
愛媛	蓮生寺内	森岡文雄	令和5年4月1日
宮崎	天福寺内	桑井大豪	令和5年6月13日

資料4 包括宗教法人台帳整備提出書類

- ① 所轄庁（都道府県庁）提出書類
（所轄庁に提出された書類の写しを必ず本庁へお送りください。）
役員名簿
財産目録（作成していない場合は必ず作成してください。作成にあたっては本庁で相談に応じます。）
収支計算書（作成していない場合は、寺院・教会の一年の収入額を記入してください。尚、作成にあたっては本庁で相談に応じます。）
- ② 法人登記簿謄本（所轄の法務局でお取りください。）
- ③ 法人規則（写し）
（お手元がない場合は、所轄の都道府県庁よりお取り寄せください。）
- ④ 法人代表印の印鑑証明（所轄の法務局でお取りください。）
- ⑤ 法人所有土地建物登記簿謄本（所轄の法務局でお取りください。）
- ⑥ 寺院・教会の境内図・見取図（公共の道路を明示してお書きください。）
- ⑦ 固定資産税納税通知書・課税明細書（写し）
（市町村役所より送付される通知書の表紙と中にある課税明細書の写しを送付ください。尚、非課税地の場合、その旨を記すと共にその面積、用途をお知らせください。）

資料5 令和五年度教学部事業報告書

● 研修・講習会関係

◎ 宗 内

- 教学研修会「弘法大師御誕生千二百五十年および真言宗立教開宗千二百年」記念講演
令和五年八月三十日 講師…弘法大師空海と醍醐寺
参加者五十七名
- 声明研修会 全三回開催
令和五年九月十二日 「声明略頌文」をテキストにした基礎研修
令和五年九月十九日 「中曲理趣三昧」の研修
令和五年九月二十六日 「中曲理趣三昧」の研修と職業所作法
講師…大阪 大聖山不動寺 藤澤寛秀 住職
参加者二十八名
- 占学講習会「星の動きを読む基礎講座」 静岡宗務所と共同主催

令和五年十一月八日～九日（二日間）開催 一講義九十分×四部
会場…静岡パルシェ 七階 貸会場

- 第一日目 午後…第一部 暦の種類と歴史、方位図の成り立ちと見方
午後…第二部 暦の読み方、干支と方位神の働き
- 第二日目 午前…第三部 九星・六輝・二十八宿の説明、成り立ちと使い
午後…第四部 暦（星の動き）を知って、自分の力（生き方）の探し方
講師…兵庫 御園教室 御園珠美佳（みその すみえ）代表
参加者五十四名（静岡宗務所募集二十三名、本庁募集三十一名）
九星気学「暦と気学」講習会
令和六年三月二十五日～二十六日（二日間）開催予定

第一日目 午後…第一部 暦の伝来と歴史
暦の種類と暦の見方（土用とお日柄） 陰陽五行説、
運命学（占いの種類）
午後…第二部 気学の一年と一ヶ月、本命星と月命星
運勢の見方（同会・非同会）、相生・相剋 傾斜鑑法

- 第二日目 午前…第三部 方位の見方、方位現象の見方
午後…第四部 方位による招運法、地図への方位ライン引き
講師…東京 石原明順先生
参加者三十九名（伝法学院生七名、外部申込者三十二名）
《不実施の事業》 寺院のつどい・准教師講座
令和五年十二月十一日 講師…未定

教学研修会「弘法大師御誕生千二百五十年および真言宗立教開宗千二百年」記念講演
令和五年十二月十一日
講師…壁瀬宥雅 管長、仲田順英 総務部長
講師…滋賀 石山寺 鷲尾龍華 座主

◎ 宗 外

- 真言宗各派総大本山会 第一回人權推進合同委員会
令和五年四月五日
会場…京都 真言宗智山派宗務本庁
出席…浦郷宜右 教学部長
- 真言宗布教連盟 第一回常任理事・理事・監事合同会議
令和五年四月十七日
会場…京都 真言宗智山派宗務本庁
出席…浦郷宜右 教学部長
- 『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第四十三回総会
令和五年四月二十日
会場…東京グランドホテル（曹洞宗檀信徒会館）
出席…浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐

真言宗各派総大本山会 令和五年度人権推進講習会

令和五年六月六日 会場：京都 真言宗智山派宗務本庁

出席：浦郷宜右 教学部長、徳野亮孝 師、西内克修 師

〔同和問題〕にとりくむ宗教教団連帯会議 第一回第一連絡会

令和五年六月十九日 会場：京都 浄土真宗本願寺派宗務所（西本願寺）

出席：浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐

〔同和問題〕にとりくむ宗教教団連帯会議 第二回第一連絡会

令和五年九月十一日 会場：京都 真言宗智山派宗務本庁 智積院会館

出席：浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐

京都府・京都府宗教連盟 令和五年度宗教法人関係者人権問題研修会

令和五年九月十三日 会場：京都府庁 第3号館

出席：京都府庁 第3号館 教学部長

真言宗布教連盟 第五十九回全真言宗青年教師布教研修会

令和五年九月十三日～九月十五日開催

会場：奈良 総本山西大寺 興正殿・大本山東大寺 金鐘会館

布教実演者：十八名（内、醍醐派より武智宏教師発表）

〔同和問題〕にとりくむ宗教教団連帯会議 第三十七回教団行政責任者研修会

令和五年十月六日

会場：京都東急ホテル 雅の間 出席：浦郷宜右 教学部長

真言宗各派総大本山会 人権推進研修会

令和五年十一月十三日

場所：京都市内ワールドワーク（岡崎周辺）

講師：穀雨企画 渡辺毅 代表

出席：西内克修 師

京都府・京都府宗教連盟・同宗連 令和五年度宗教法人関係者人権問題研修会

令和五年十一月二十日

会場：京都ガーデンパレス 二階 葵

〔同和問題〕にとりくむ宗教教団連帯会議 第三回第一連絡会

令和五年十二月十九日

場所：大阪 フォール天王寺 四階 多目的室 大阪 鶴橋ワールドワーク

出席：浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐

〔同和問題〕にとりくむ宗教教団連帯会議 第四回第一連絡会

令和六年一月十七日

会場：醍醐寺 研修棟

出席：浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐 岡田文史

真言宗各派総大本山会 第二回人権推進合同委員会

令和六年三月十二日 会場：京都 真言宗智山派宗務本庁

出席：浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐

●御親教・導師派遣並びに講師派遣その他

弘法大師御誕生千二百五十年記念大法会

令和五年五月二十四日 十四時 咒立二箇法要（庭儀付き）を厳修

於：香川 総本山 善通寺

御手替：壁瀬宥雅 宗務総長（現 管長）、職衆十二口

京の杜プロジェクト『福島県いわき市・桜植樹式』

令和五年三月十六日 いわき市立長倉小学校に植樹（※令和四年度事業）

出向：三好祥徳財務部長、壁瀬智泉、岩城秀興、城戸美和

令和六年三月一日 いわき市立錦東小学校に植樹（※令和五年度事業）

出向：三好祥徳財務部長、渡邊慧海、壁瀬智泉、城戸美和

●その他

真言宗布教連盟「真言宗各派総大本山会 法話リレー 辻説法」全六回開催

令和五年三月二十九日 三宝院唐門前 約五十名傾聴

令和五年四月二十九日 三宝院唐門前 約二十名傾聴

令和五年五月二十九日 三宝院大玄閣 九名傾聴

令和五年六月二十九日 三宝院唐門前 五名傾聴

令和五年九月二十九日 三宝院唐門前 五名傾聴

令和五年十月二十九日 三宝院唐門前 六名傾聴

法話：醍醐寺念誦僧 鈴木俊秀 師（全六回とも）

令和五年度 第六十一回密教学芸賞・第五十五回密教教化賞 授賞式

令和五年十月三十日 奈良 信貴山 大本山 玉蔵院にて授賞式

【醍醐寺推薦の密教教化賞受賞者】 愛媛 金仙寺 住職（教員歴三十三年、保護司歴三十四年）今井奉一 僧正

●【補足】醍醐寺の事業報告

●法流相承関係

三宝院流得度式 於：三宝院道場

令和五年五月十日 伝法学院生七名、三憲受者五名、末寺徒弟二名

第五十二回修験伝法教授 於：三宝院

令和五年十月七日～十一日開校 初級六名、中級三名、上級十名

令和五年十月八日 修験得度式 受者六名

令和五年十月十日 恵印灌頂 減罪七名、覚悟四名、伝法十一名

特別開壇 修験得度式 於：三宝院道場

令和五年十一月二日 神奈川 成就院 受者二十五名

伝法灌頂 於：三宝院道場

令和六年一月二十六日 伝法学院生七名、三憲受者五名、末寺徒弟三名

《不実施の事業》 太元護摩伝授 於：三宝院 令和六年一月二十九日 開延予定 伝授阿闍梨：壁瀬宥雅 管長

●法要・行事関係

◎醍醐寺主催

真言宗立教千二百年 弘法大師御誕生千二百五十年慶讃法要

令和五年十月二十一日 十時 法要庭儀中曲理趣三昧 於…金堂

御手替…壁瀨宥雅 宗務総長(現 管長)、職衆十六口

十四時 柴燈大護摩供 於…不動堂

御手替…仲田順英 総務部長、度衆三十二口、証明衆七名他

聲明公演 ―名残の秋に響く醍醐の祈り― 於…金堂

令和五年十一月二十三日

出演者…職衆ほか十口(中曲理趣三昧法要形式)

参座者…約五十名

豎義会

令和五年十一月二十七日 平座理趣三昧法要 於…弥勒堂

御導師…壁瀨宥雅 執行長(現 座主)、職衆九口他

令和五年十一月二十八日 豎義会 於…金堂

探題…壁瀨宥雅 執行長(現 座主)、精義…上司永照 僧正(東大寺)

問者…①清水公仁 僧正(東大寺)、②壁瀨智泉 師、③飯田俊海 師

注記…佐保山曉祥 僧正(東大寺)、所司…百目鬼幸秀 課長

執当…堀池春彰 僧正(東大寺)、堅者…田中祐考 伝法学院院长

職衆…仲田順英 執行、浦郷宜右 執行、三好祥徳 執行

〔京の冬の旅〕非公開文化財 特別公開 〔源氏物語と祈りの世界〕

令和六年一月二十七日～三月三日 醍醐寺 霊宝館

◎醍醐派関係、他宗派・所属団体ほか主催

仁王会法要 午前、午後の二座厳修 於…新潟 菅谷寺

令和五年四月九日 新潟宗務所下寺院より十三名出仕

弘法大師ご誕生千二百五十年記念法要 於…新潟 萬覚院

令和五年十一月二十一日 新潟二西会 四ヶ寺(僧侶四名)で厳修

後七日御修法 於…京都 総本山 教王護国寺 灌頂院

令和六年一月八日～十四日 厳修

供僧出仕…三重 別格本山 大宝院 岩鶴密雄 僧正(配役…神供)

承仕…三重 田村寺 田村眞悠 師随行…北海道 大心寺 荻原隆明 師

●醍醐寺教育関係の取り組み

寄付講座種智院大学、日本女子大学、京都橘大学 生け花講座京都橘大学

〔京の杜プロジェクト〕サクラがっつなく架け橋〕立命館小学校

地域連携文化財鑑賞授業京都市立醍醐中学校

令和五年七月四日 三宝院殿舎・庭園鑑賞

令和五年九月一日 五大明王像鑑賞 於…霊宝館

令和五年十二月十二日 始皇狩之図屏風鑑賞 於…霊宝館

資料6 令和六年度教学部事業計画書

●研修・講習会関係

◎宗内

教学研修会 日程 未定

・三宝院流血脈について・声明研修会・占学講習会 など

寺庭のつどい・准教師講座 日程 未定 参加者を募集します

◎宗外

(済) 真言宗各派総大本山会 第一回人權推進合同委員会

令和六年四月十一日

会場…京都 真言宗智山派宗務本庁

出席…飯田俊海 教学課長補佐

(済) 『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第四十四回総会

令和六年四月十七日

会場…大阪 立正佼成会 大阪普門館

出席…飯田俊海 教学課長補佐

(済) 真言宗布教連盟 第一回常任理事・理事・監事合同会議

令和六年四月十七日

会場…京都 真言宗智山派宗務本庁

出席…浦郷宜右 教学部長

(済) 『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第一連絡会(年四回開催予定)

令和六年五月八日

会場…京都 下京いきいき市民活動センター 二階

(第一回) テーマ…「部落差別問題」

旧柳原銀行見学、京都駅・崇仁地区周辺フィールドワーク

出席…浦郷宜右 教学部長、飯田俊海 教学課長補佐

令和六年七月五日

会場…京都 黄檗宗 大本山萬福寺 黄龍閣別館 二階

(第二回) テーマ…「中国人差別問題」

令和六年九月十八日 もしくは九月二十六日 開催予定

(第三回) 詳細未定

第四回の日程未定

真言宗各派総大本山会 令和六年度人權推進講習会

令和六年六月四日 会場…京都 真言宗智山派宗務本庁

部落解放同盟 第四十九回部落解放・人權西日本夏期講座

令和六年六月十三日～十四日

会場…大分 別府国際コンベンションセンター

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議 第三十九回部落解放基礎講座

令和六年七月八日～九日 会場…京都 浄土宗務庁

令和六年十二月十八日～十九日 会場…福岡 曹洞宗安国寺

真言宗布教連盟 第六十回全真言宗青年教師布教研修会

令和六年十月十六日～十八日(二泊三日) 参加者募集します

会場…広島 尾道市 真言宗泉涌寺派 大本山浄土寺

真言宗各派総大本山会 人権推進研修会

令和六年十一月十一日 参加者募集します

会場…京都 立命館大学国際平和ミュージアム

京都市人権資料展示施設 ツラッティキ本

京都府・京都府宗教連盟 宗教法人関係者人権問題研修会 日程 未定 参加します

●御親教・導師派遣並びに講師派遣その他※要請があり次第随時お受けします。

●その他

令和六年度 第六十二回密教学芸賞・第五十六回密教教化賞 授賞式

令和六年十月十日 醍醐寺 霊宝館で開催

【補足】醍醐寺の事業計画

●法流相承関係

(濟) 三寶院流得度式 於…三寶院道場

令和六年五月九日 伝法学院生四名、三憲受者五名、末寺徒弟二名

理性院流 太元護摩 付息災 伝授 於…三寶院

令和六年九月上旬 開廷予定 伝授大阿闍梨・壁瀬宥雅 座主

梵字悉曇伝授並びに悉曇灌頂・許可灌頂

坂井榮信悉曇阿闍梨相承 澄禅流梵字・智満流梵字伝授 於…三寶院

開廷予定日(十二会予定)

令和六年十月一日～二日 第一会

令和六年十二月十七日～十八日 第二会

令和七年一月二十一日～二十二日 第三会

伝授悉曇阿闍梨・種智院大学 副学長・教授

智山派 永福寺 児玉義隆 住職 大本山大覚寺 嵯峨伝灯学院 講師

第五十三回修験伝法教授 於…三寶院

令和六年十月十一日～十五日(四泊五日)で開校予定 初級、中級、上級の三コース受付

令和六年十月十二日 修験得度式 開壇予定

令和六年十月十四日 恵印灌頂(滅罪灌頂、覚悟灌頂、伝法灌頂) 開壇予定

伝法灌頂 於…三寶院道場

令和六年十二月二十三日 開壇予定

●法要・行事関係

◎醍醐寺主催

醍醐寺第四百四世座主 壁瀬宥雅大僧正 晋山式 於…金堂

令和六年五月三十日

開創千五十年記念 醍醐寺国宝展 於…大阪中之島美術館 四階展示室

令和六年六月十五日～八月二十五日開催

大阪中之島美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪と共同主催

醍醐寺開創千五十年慶讃大法要 令和六年十一月十四日～十八日(五日間) 厳修

令和六年十一月十四日(開白)

・鎮守法楽 大般若転読法要 於…下醍醐 清瀧宮

・如意輪観世音供 並 醍醐寺第一世観賢大徳千百年忌

中曲理趣三昧法要 於…上醍醐 如意輪堂

・堅義会平座理趣三昧法要・堅義会 於…金堂

令和六年十一月十五日

・恵印三昧耶法要 於…金堂

・開山理源大師報恩謝徳 平座理趣三昧法要 於…祖師堂

令和六年十一月十六日(中日)

・庭儀舞楽大曼荼羅供法要 於…金堂

・宗内功業者表彰式 於…金堂

令和六年十一月十七日

・慶讃法要(真如苑) 於…金堂

令和六年十一月十八日(結願)

・鎮守法楽 神祇講式 於…下醍醐 清瀧宮

・准胝観世音法要 並 先師忌 中興准三后義演大僧正四百回忌

密厳心院文雄大僧正十三回忌 中曲理趣三昧法要 於…観音堂

・柴燈大護摩供 於…下伽藍 不動堂 柴燈護摩道場

声明公演 於…金堂

令和六年十一月下旬夜間拝観の期間中に公演予定

◎醍醐派関係、他宗派・所属団体ほか主催

(濟) 仁王会法要 午前、午後の二座厳修 於…新潟 菅谷寺

令和六年四月十四日新潟宗務所下寺院より十二名出仕

全真言宗青年連盟 第四十四回結集 醍醐大会 於…醍醐寺

令和六年十月八日記念法会・大会式典…金堂、講演…霊宝館

懇親会…ホテルグランヴィア京都 翻山青年連合会主催

大会テーマ…「法燈の祈りを繋ぐ今」

演題…「発心について考えてみよう」～インド・チベット密教の立場から～

講師…平岡宏一 氏

後七日御修法 於…京都 総本山 教王護国寺 灌頂院

令和七年一月八日～十四日 厳修 伴僧、承仕、随行を選出

資料7

寺院教会宗費納入状況表

宗務所名	令和3(2021)年度				令和4(2022)年度				令和5(2023)年度			
	賦課額	免除		納入額	賦課額	免除		納入額	賦課額	免除		納入額
		数	金額			数	金額			数	金額	
北海道	527,000	0	0	527,000	527,000	0	0	527,000	527,000	0	0	527,000
山形北部	451,000	1	31,000	420,000	451,000	1	31,000	420,000	451,000	1	31,000	420,000
山形南部	1,008,200	6	147,700	860,500	1,008,200	6	147,700	860,500	964,100	4	103,600	860,500
新潟	1,428,500	12	381,500	1,047,000	1,428,500	12	381,500	1,047,000	1,395,500	12	381,500	1,014,000
山梨	471,000	0	0	471,000	471,000	0	0	471,000	471,000	0	0	471,000
静岡	715,000	0	0	715,000	715,000	0	0	715,000	715,000	0	0	715,000
三河東部	882,648	2	73,554	809,094	882,648	2	73,554	809,094	882,648	2	73,554	809,094
三河西部	841,000	0	0	841,000	841,000	0	0	841,000	841,000	0	0	841,000
尾張	684,000	1	26,500	657,500	684,000	1	26,500	657,500	684,000	1	26,500	657,500
岐阜	400,000	0	0	400,000	400,000	0	0	400,000	400,000	0	0	400,000
三重	1,591,000	1	35,090	1,555,910	1,591,000	1	35,090	1,555,910	1,591,000	1	35,090	1,555,910
京都	1,016,440	1	0	1,016,440	983,460	0	0	983,460	983,460	0	0	983,460
奈良	891,000	3	60,000	831,000	891,000	3	60,000	831,000	891,000	3	60,000	831,000
大阪	985,000	0	0	985,000	985,000	0	0	985,000	985,000	0	0	985,000
兵庫	389,600	0	0	389,600	389,600	0	0	389,600	389,600	0	0	389,600
美作	501,400	9	148,400	353,000	501,400	9	148,400	353,000	501,400	9	148,400	353,000
備前	378,000	0	0	378,000	378,000	0	0	378,000	378,000	0	0	378,000
備中	412,000	0	0	412,000	412,000	0	0	412,000	412,000	0	0	412,000
広島	1,457,200	1	64,000	1,393,200	1,457,200	1	64,000	1,393,200	1,457,200	1	64,000	1,393,200
山口	694,200	0	0	694,200	694,200	0	0	694,200	694,200	0	0	694,200
鳥取	467,000	2	49,000	418,000	467,000	2	49,000	418,000	467,000	2	49,000	418,000
島根	814,000	2	44,600	769,400	673,000	0	0	673,000	673,000	0	0	673,000
高知	206,900	0	0	206,900	206,900	0	0	206,900	206,900	0	0	206,900
香川	1,460,800	2	40,600	1,420,200	1,460,800	2	40,600	1,420,200	1,460,800	2	40,600	1,420,200
愛媛	1,457,800	1	9,000	1,448,800	1,457,800	1	9,000	1,448,800	1,421,400	1	9,000	1,412,400
福岡	1,095,000	0	0	1,095,000	1,026,000	0	0	1,026,000	1,026,000	0	0	1,026,000
大分	695,000	1	11,000	684,000	695,000	0	0	695,000	695,000	0	0	695,000
肥前	729,000	4	108,500	620,500	729,000	4	108,500	620,500	729,000	4	108,500	620,500
熊本	258,000	0	0	258,000	258,000	0	0	258,000	258,000	0	0	258,000
宮崎	332,000	0	0	332,000	332,000	0	0	332,000	332,000	0	0	332,000
合計	23,239,688	49	1,230,444	22,009,244	22,996,708	45	1,174,844	21,821,864	22,883,208	43	1,130,744	21,752,464
直轄寺院	5,037,580	1	24,600	4,547,744	4,988,980	1	24,600	4,254,480	4,926,580	1	24,600	3,892,780
教会	2,915,000	1	35,000	2,048,600	2,922,000	1	35,000	1,872,000	3,029,000	1	35,000	1,881,000

科 目	当年度予算	前年度予算	比較増減	備 考
歳入総額	80,450,000	83,000,000	△ 2,550,000	
第1款 宗費賦課金	64,450,000	65,300,000	△ 850,000	
第1項 当年度取入	58,800,000	59,000,000	△ 200,000	
第1目 寺院	28,000,000	28,000,000	0	
第2目 教会	2,300,000	2,300,000	0	
第3目 本宗教師僧侶	20,000,000	20,000,000	0	
第4目 修験道教師僧侶	8,500,000	8,700,000	△ 200,000	
第2項 過年度取入	5,650,000	6,300,000	△ 650,000	
第1目 寺院	1,000,000	1,400,000	△ 400,000	
第2目 教会	350,000	600,000	△ 250,000	
第3目 本宗教師僧侶	3,000,000	3,000,000	0	
第4目 修験道教師僧侶	1,300,000	1,300,000	0	
第2款 礼録金	7,700,000	9,600,000	△ 1,900,000	
第1項 本宗	6,200,000	8,100,000	△ 1,900,000	
第2項 修験道	1,500,000	1,500,000	0	
第3款 手数料	3,300,000	3,100,000	200,000	
第1項 証明・承認	2,800,000	2,800,000	0	
第2項 褒賞	500,000	300,000	200,000	
第4款 雑収入	2,000,000	2,000,000	0	神変協賛金、伝法教授 各種研修会
第5款 醍醐寺拠出金	3,000,000	3,000,000	0	
第6款 剰余金取崩	0	0	0	

科 目	当年度予算	前年度予算	比較増減	備 考
歳出総額	80,450,000	83,000,000	△ 2,550,000	
第1款 糞供費	1,000,000	1,000,000	0	
第2款 宗務本庁費	48,100,000	48,650,000	△ 550,000	
第1項 給与費	33,000,000	33,000,000	0	
第2項 事務費	11,500,000	11,750,000	△ 250,000	
1目 備品費	1,500,000	1,500,000	0	複合機、FAXリース料等
2目 消耗品費	1,500,000	1,650,000	△ 150,000	
3目 印刷費	700,000	700,000	0	
4目 通信・運搬費	3,500,000	3,600,000	△ 100,000	
5目 情報管理費	4,300,000	4,300,000	0	クラウド化推進、情報セキュリティ対策システム見直し・ 効率化
第3項 旅費・交通費	1,700,000	1,700,000	0	
第4項 光熱水費	1,200,000	1,200,000	0	
第5項 東京出張所費	100,000	100,000	0	
第6項 諸問題対策費	500,000	800,000	△ 300,000	弁護士費用、研究費等
第7項 雑費	100,000	100,000	0	解散、不活動調査費用
第3款 会議費	4,200,000	4,700,000	△ 500,000	
第1項 宗会費	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	
第2項 所長会費	1,300,000	1,300,000	0	
第3項 諸制度審議会費	500,000	500,000	0	1回開催予定
第4項 その他	400,000	400,000	0	小委員会2回開催予定
第4款 教学費	21,200,000	21,700,000	△ 500,000	
第1項 伝法学院交付金	12,000,000	12,500,000	△ 500,000	
第2項 宗内伝道費	2,300,000	2,300,000	0	視校式、願背運動成、HP管理
第3項 教化活動費	1,700,000	1,700,000	0	伝法教授、各種研修会、東大寺御供
第4項 機関誌製作費	5,000,000	5,000,000	0	別冊年12回、同封物、本編年2回
第5項 人権擁護推進費	150,000	150,000	0	
第6項 雑費	50,000	50,000	0	

科 目	当年度予算	前年度予算	比較増減	備 考
第5款 負担金	2,750,000	2,750,000	0	
第1項 種智院大学負担金	700,000	700,000	0	
第2項 全日仏負担金	1,000,000	1,000,000	0	
第3項 同宗連負担金	350,000	350,000	0	
第4項 その他	700,000	700,000	0	真言宗布教連盟、教師連盟
第6款 宗務所報償金	2,200,000	2,200,000	0	
第7款 選挙費	0	1,000,000	△ 100,000	
第8款 予備費	1,000,000	1,000,000	0	

田中伊雅佛具店

〒600-1845
 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル
 TEL (075) 351-2584
 FAX (075) 341-8822
<http://www.tanakaiga.com>

法衣・仏具製造及び販売



井筒法衣店

600-8468
 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

Tel 075-365-0001

Fax 0120-075-730

Fax 075-353-7021

オンラインショップは
 こちらから →



林勘法衣店

〒602-10874
 京都市上京区河原町丸太町
 西筋下ル東土御門町345
 TEL (075) 231-2244
 FAX (075) 255-1632
 E-mail hayashikan@beach.ocn.ne.jp

大峯山陀羅尼助丸

花谷神変堂

〒638-10431
 奈良県吉野郡天川村洞川235
 TEL (0747) 64-10047
 FAX (0747) 64-10070

土山印刷株式会社

〒601-8308
 京都市南区吉祥院向田東町14
 TEL (075) 312-1321
 FAX (075) 313-8521
www.tsuchiyama.co.jp

上田法衣佛具店

〒604-10913
 京都市中京区河原町二条西入上る
 TEL (075) 221-3348
 FAX (075) 211-1858

今井半念珠店

〒605-10934
 京都市東山区大黒町通正面南入
 TEL (075) 561-0307
 FAX (075) 525-12557

松栄堂

〒604-10857
 京都市中京区烏丸通二条上ル東側
 TEL (075) 212-15590
<https://www.shoyeido.co.jp>

大住法衣店

〒604-18274
 京都市中京区小川通三条上ル西堂町
 TEL (075) 221-3087
 FAX (075) 221-3038
 E-mail oosumihouji@gmail.com

山城屋文政堂

藤井佐兵衛

〒600-18029
 京都市下京区寺町通五条上ル
 TEL (075) 351-1936
 FAX (075) 343-15500
<http://yamasa-bunseido.com>

杉本権七法衣店

〒600-18304
 京都市下京区新町通六条下ル
 TEL (075) 351-12890
 FAX (075) 341-16774

和光印刷株式会社

〒602-10012
 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル
 TEL (075) 441-15408
 FAX (075) 441-14982
 E-mail info@wako-print.co.jp



醍醐寺開創1150年慶讃事業義納金について

今般の義納金は、醍醐寺開創以来1150年に亘って受け継がれてきた法流伝承の象徴として「法流の杜」を整備するための大切なものです。

詳細はお手元のパンフレットをご確認いただき、是非お早目の納入をお願いいたします。

ご不明点は宗務本庁までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 宗務本庁 TEL：075-571-0002



総本山 醍醐寺 桜会 2025年 3/15(土) 4/15(火)

- 3/15 (土) 桜会開白 大般若転読法要
- 4/1 (火) 桜会中日 柴燈大護摩法要
- 4/13 (日) 豊太閣花見行列
- 4/15 (火) 桜会結願

